

いいきいき フロンティア

■SBI いいきいき保険 6万件に

SBI いいきいき少額短期保険は設立10周年を前に、保有契約件数が6万件に達した。同社は雑誌「いいきいき」(現ハルメク)の読者を対象に医療共済を販売していた共済会が原点。

少額短期保険業が保険業法内に正式に認めら

れた翌年の2007年7月に「いいきいき世代の会フロンティア」を設立。10月に少額短期保険会社として登録した。

13年にSBIグループ入りし、14年に商号変更。共済会時代の06年10月は2万件だったが、15年6月に4万件、16年7月に5万件を突破。それから1年で1万件増やした。人生の終わりに向けた前向きな準備としての「終活」がシニア世代に定着してきたことなどが、増加の要因とみられる。